



2026 年 2 月 6 日

各 位

第 63 回愛媛マラソンの経済効果はおよそ 5 億 50 百万円

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 IRC、社長 矢野 一成）では、2 月 1 日に開催された「第 63 回愛媛マラソン」の県内における経済効果を算出いたしました。概要は以下のとおりです。

1. 推計結果

(1) 経済効果

経済効果			事業費に対する 経済効果	出走者数
	直接効果※1	間接効果※2		
5 億 50 百万円	3 億 59 百万円	1 億 91 百万円	2.57 倍	11,131 人

「第 63 回愛媛マラソン」の経済効果は、5 億 50 百万円となりました。これは、主催者事業費の 2.57 倍の効果であります。

※1 直接効果…主催者事業費+選手・観客による消費額

(県外からの財やサービスの調達が見込まれる分は除く)

※2 間接効果…直接効果によって県内の各産業にもたらされる生産誘発額+選手・観客による消費の増加や生産誘発によって生じる雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額

2. 推計方法

- (1) 主催者事業費は、事務局資料より約 2 億 14 百万円としました。
- (2) 出走者数は 11,131 人で、当日の観客は、沿道とスタート・ゴール会場を合わせて約 18 万人と推計しました。
- (3) 参加選手・観客の消費額は、交通費・宿泊費・観光費に加え、ウェアなどの用品・用具類等の消費額で合計約 5 億 11 百万円と推計しました。
- (4) 主催者事業費と参加選手・観客の消費額をもとに、「平成 27 年愛媛県産業連関表」を用いて経済効果を算出しました。

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社いよぎん地域経済研究センター

担当： 富永 TEL (080) 2990-1206